

受託国内放送に係る調査票

氏名又は名称： _____ 連絡先 電話番号： _____
担当部局： _____ メールアドレス： _____
担当者名： _____

1. 参入主体**(1) 参入主体の氏名又は名称**

参入主体の氏名又は名称を記載してください。今後設立予定の場合、仮称又は名称未定等でも構いません。

--

(記載例1) 「aa 株式会社」

(記載例2) 「株式会社(今後設立予定)」

(2) 参入主体の主な出資者

参入主体の主な出資者の氏名又は名称及びその議決権の比率を記載してください。今後設立予定の場合は、現時点での想定で構いません。

--

(記載例) 「bb 株式会社 55%、cc 株式会社 45% (平成 21 年 3 月末時点)」

2. 参入先の希望及び技術方式等**(1) 参入先の希望**

以下のどちらの放送への参入をご希望されていますか。

A 全国向け放送 B 地方ブロック向け放送

※(2)については、(1)でA(全国向け放送)を選択された方がご回答ください。

(2) 技術方式

情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会により取りまとめられた委員会報告では、全国向け放送に関して以下の2方式について技術的条件が策定されていますが、いずれの方式を採用することを想定していますか。携帯端末向けマルチメディア放送の普及の観点による選定理由もあわせて記載してください。

A ISDB-Tmm 方式 B MediaFLO 方式

(理由: _____)

(注) 情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会により取りまとめられた委員会報告では、地方ブロック向け放送の技術基準として ISDB-T_{SB} 方式のみが提案されているため、以下の設問はこれを前提として作成しています。

※(3)については、(1)でB(地方ブロック向け放送)を選択された方がご回答ください。

(3) 参入を希望する放送対象地域

以下のうち、いずれの放送対象地域への参入をご検討されていますか(複数回答可)。

A 北海道地域	B 東北地域	C 関東・甲信越地域
D 東海・北陸地域	E 近畿地域	F 中国・四国地域
G 九州・沖縄地域		

3. 希望する周波数

※(1)については、2.(1)でA(全国向け放送)を選択された方がご回答ください。

(1) 全国向け放送に使用させる周波数 (VHF-HIGH 帯:207.5MHz~222MHz)

① 希望する周波数帯域幅

VHF-HIGH 帯の 14.5MHz 幅の中で、ISDB-T_{mm} 方式及び MediaFLO 方式の組合せにより取り得る以下の周波数帯域幅のうち、いずれを使用することを希望しますか。

【ISDB-T_{mm} 方式の場合】

※2.(2)でA(ISDB-T_{mm} 方式)を選択された方がご回答ください。

A 1 約 14.2MHz (33 セグメント)	A 2 約 9.0MHz (21 セグメント)
A 3 約 8.2MHz (19 セグメント)	A 4 約 7.8MHz (18 セグメント)
A 5 約 7.3MHz (17 セグメント)	A 6 約 6.9MHz (16 セグメント)
A 7 約 6.5MHz (15 セグメント)	A 8 約 6.0MHz (14 セグメント)
A 9 約 5.6MHz (13 セグメント)	A 10 その他

※A10を選択された場合、周波数帯域幅を明示して記載してください。

【MediaFLO 方式の場合】

※2.(2)でB(MediaFLO 方式)を選択された方がご回答ください。

B 1 約 13MHz (7.4MHz+約 5.6MHz 又は約 6.5MHz×2)		
B 2 7.4MHz	B 3 約 6.5MHz	B 4 約 5.6MHz
B 5 約 4.6MHz	B 6 その他	

※B6を選択された場合、周波数帯域幅を明示して記載して下さい。

(記載例 1) 「B1を希望」

(記載例 2) 「第一希望A1、第二希望A2」

② 希望する周波数帯域の配置

①でA1、B1以外のいずれかを希望する旨の回答をされた方は、VHF-HIGH 帯のうち、高い周波数帯域(222MHz 寄りの周波数帯域)への配置か、低い周波数帯域(207.5MHz 寄りの周波数帯域)への配置のうち、いずれかについて希望がある場合には、明示して記載してください。

(記載例 1) 「高い周波数帯域を希望」

(記載例 2) 「特になし」

③ 周波数帯域幅及び周波数帯域の優先順位

①で回答された周波数帯域幅に関する希望と、②で回答された周波数帯域の配置に関する希望のうち、いずれについて優先してご希望されますか。

- A 周波数帯域幅を強く優先する。
- B 周波数帯域幅を優先する。
- C 周波数帯域幅をどちらかというと優先する。
- D 周波数帯域の配置をどちらかというと優先する。
- E 周波数帯域の配置を優先する。
- F 周波数帯域の配置を強く優先する。

④ 希望する周波数についてのご要望等

①、②及び③のご回答に関して、ご要望等があれば記載してください。

※(2)については、2.(1)でB(地方ブロック向け放送)を選択された方がご回答ください。

(2) 地方ブロック向け放送に使用させる周波数 (VHF-LOW 帯: 90MHz～108MHz)

VHF-LOW 帯の 18MHz 幅の中で、参入を希望する放送対象地域において使用することを希望する周波数帯域幅を記載してください。

※今後、隣接する放送対象地域間での混信等を考慮し、放送対象地域ごとに使用させる周波数を定めることとしているため、各放送対象地域の全域において 18MHz の周波数帯域全てを使用することはできませんので、ご注意ください。また、放送対象地域ごとに使用さ

せる周波数帯域を定める上で考慮すべき事項やご要望があれば併せて記載してください。
なお、各放送対象地域において使用する周波数の配置については、FMとの混信等を考慮し、基本的に総務省が判断することとなりますが、特段のご要望があれば併せて記載してください。

4. 放送の開始時期

開設計画の認定から、実際に放送を開始するまでにはどの程度の期間が必要と想定していますか。また、当該期間中に想定される主な工程及びそれに要する期間も併せて記載してください。

5. 受託放送役務の提供条件等

(1) 提供条件の開示の時期

委託放送業務への参入を希望する者に対して、受託放送役務の料金その他の提供条件を開示できる時期は、いつごろを想定していますか。

(記載例) 「開設計画の申請時には開示可能。それ以前の時期においては、委託放送業務への参入を希望する方から個別に問い合わせをいただければ可能な範囲で対応する。」

(2) 放送の委託を受ける際の技術的な条件

情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会により取りまとめられた委員会報告による技術的条件の他、委託放送事業者から放送の委託を受ける際に必要となる技術的な条件として、現時点で想定されるものがあれば記載してください。

6. 受信設備

現在採用を想定している技術方式を利用した受信設備の開発、製造、販売等を行うにあたり、当該技術方式を利用するために必要となる費用・条件及びその公表の可否について記載してください。

--

以上